令和８年１１月吉日

山口大学 国際総合科学部
総合型選抜合格者　各位

国際総合科学部長
上田　真寿美

合格おめでとうございます。

教職員一同、来春皆さんが入学する日を心待ちにしております。

さて、別に案内のとおり、入学までの期間、皆さんには英語の学習をお願いしております。また、自身の英語によるコミュニケーション能力を高めるために、英語の資格・検定試験などを活用することも考えてください。

他方で、残り半年弱の高校生活の間に十分学習しておいて欲しい教科は英語に限りません。まずは、すべての教科に共通し大学での学びの基本となる読解力があります。教科書などの文献を通じ学修するために、文章の意味を正確に理解できることです。その上で本学部は、高校までに学ぶ英数国理社情の幅広い分野にわたる基本的な学力を十分に身につけていることを期待しています。それに加えて、普段から科学技術や現代社会についての話題に親しみ、自分の考えを持ち、それについて誰かと語り合うことなどを通して、基本的な論理的思考力とコミュニケーション能力を身につけておくことも重要です。

本学部のアドミッション・ポリシーの「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」を改めて掲げます。

① 英語については、基本的な読解力、作文力、会話力、聴解力
② 数学については、基本的な数学の知識と数学的思考力
③ 国語については、基本的な読解力、思考力、表現力
④ 理科については、自然現象及び科学技術に関する基本的な知識、好奇心、探究心
⑤ 地理歴史・公民については、さまざまな社会現象に関する基本的な知識と問題意識
⑥情報については、情報技術を適切かつ効果的に活用する能力

このように私たち教職員一同は、高校で学ぶいずれの教科・科目も極めて重要であり、大学での修学の前提かつ基盤であると考えております。特に在学生が入学後履修にあたって高校レベルの基本的な知識・理解の不足で苦労しがちな領域を以下に掲げます。これらの分野の知識・理解が現時点で不十分な場合、大学入学までにきちんと学習しておいてください。

1. 「数Ⅰ・A」、「数Ⅱ・B・C」全体。特にCの統計分野
（上記の内容は、自然現象ならびに社会現象の数量的把握の基盤であり、また、大学入学後も高校で学習した内容を発展させた「統計学」の入門や演習が必修科目となっています。さらに、統計学で修得した知識・技能はその後の発展的科目で活用します）

2. 「物基」、「化基」、「生基」において学習すべき重要概念とその現代的意義
（国際総合科学部は文・理の一方に偏らない、幅広い学識の涵養を目指しており、大学入学後も、多数の現代社会において必須の自然科学的教養を修得するための科目が必修となっています）

3. 「歴史総合」、「地理総合」全体
（上記科目で扱う内容の知識は、グローバル化した現代社会を理解するための必須の知識であり、多数の必修科目を履修する上でその内容を押さえておくことは不可欠です）